

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院に入院される患者さんへ

和歌山県立医科大学附属病院 医療情報部では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、入院中の患者様が転倒を起こした際に早期に発見するための基礎研究のデータを収集するための「ミリ波センサーを用いた転倒検知の前向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方の、個人情報も研究に使用しません。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

ミリ波センサーを用いた転倒検知の前向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 医療情報部 准教授 西川 彰則

3. 研究の目的

入院患者さんの転倒は重大な障害につながるリスクが高く、転倒のリスクが高い患者さんについては、安全な見守りの体制が必要です。病室などにカメラを設置する見守りは、患者のプライバシーを損なうため、ミリ波センサー（映像ではなく患者さんの位置と姿勢のみの情報）を用いて転倒を判別する実証を行います。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

令和5年4月1日から令和8年31日までの期間中に当院に入院した患者様。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、ミリ波センサーで検出した患者さんの位置を示す情報、転倒日時、センサーマットのアラーム通知の日時です。直接、患者さんの個人情報に関わる情報は扱いません。

(3) 方法

病室にミリ波センサーを設置し、常時患者さんの位置情報と姿勢情報を取得します。カメラなどの映像は用いないので、個人は識別できません。病室内で転倒が起きた際に、転倒した日時やセンサーマットのアラームが発生した日時を記録し、実際の転倒日時とミリ波センサーで解析した転倒日時が一致するかどうかを検証します。本研究は、富士通株式会社にデータの解析を依頼し実施します。

5. 個人情報の取扱い

研究では患者さんを特定できる個人情報は扱いません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の療養情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

講座研究費および富士通株式会社の協力のもと研究を実施します。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院 医療情報部 西川 彰則

TEL : 073-441-0663

E-mail : nishikaw@wakayama-med.ac.jp